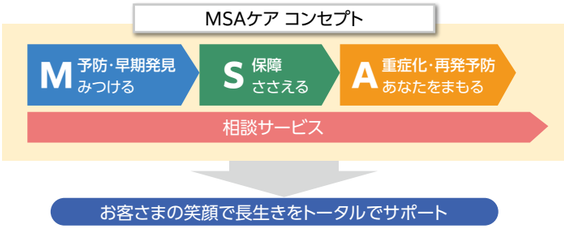
ヘルスケアサービスブランド「MSAケア」を立ち上げ、新サービスを導入

お客さまの健康をトータルでサポートすることを目指し、2022年10月からヘルスケアサービス「MSAケア」の提供を開始しました。
「MSAケア」では、生命保険による「経済的な保障」に加え、「みつける(M)・ささえる(S)・あなたをまもる(A)」をコンセプトとした保障前後のヘルスケアサービスをご提供することにより、病気になる前、病気になった後のサポートまでを“ひとつながり”でお届けします。
サービスとしては、社会課題であるがんや生活習慣病の「早期発見」に着目し、尿や血液をご自身で採取し送るだけで、がんや生活習慣病のリスク検査を自宅で行える「N−NOSE」や「ketsuken」、健康診断結果から健康年齢や疾病入院リスク、結果に応じた健康記事を表示する「撮るだけ健康チェック+(プラス)」等、5つの先進的なサービスをラインアップしました。
2023年6月には「MSAケア」の利便性の向上に向け「MSAケアWebサービス」をリリースし、ご利用いただけるお客さまの拡大を図りました。また、がん罹患者向けの情報提供などのサービスも拡充しました。
これからも「MSAケア」のサービスをますます充実させ、お客さまの「笑顔で長生き」を応援していきます。



新商品「&LIFE 医療保険Aセレクト」「&LIFE ガン保険Sセレクト」発売

昨今の医療をとりまく環境として「入院の短期化」「ガンの早期発見技術の進化」「ガン治療の多様化」が挙げられます。こうした環境変化と、お客さまからのさらなるご要望を取り入れ、新商品「&LIFE 医療保険Aセレクト」「&LIFE ガン保険Sセレクト」を2022年11月に発売しました。

<主な特徴>

①&LIFE 医療保険Aセレクトでは、短期入院に対する備え、治療費以外での一時的な出費や生活費をサポートするため、病気・ケガを問わず入院されたとき、一時金を保障する特約「入院一時給付特約（無解約返戻金型）(22)」を新設しました。&LIFE ガン保険Sセレクトでは、初めてガンと診断確定されたときに、一時金を保障する「ガン診断給付型」を主契約にご用意しました。
②&LIFE 医療保険Aセレクト、&LIFE ガン保険Sセレクトとも、ガンにおいて早期のガン（上皮内ガンを含む）から保険料の払込みを免除する特約「保険料払込免除特約(22)」「ガン保険料払込免除特約」を新設しました。

このように充実した保障を備えた商品をお届けすることで、社会課題の解決を実現し、お客さまから一層感謝の声をいただける保険会社を目指していきます。

経済産業省「DX認定」を取得

経済産業省が認定する「DX認定」を取得しました。本認定制度は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、経営者に求められる企業価値向上に向け実践すべき事項をまとめた「デジタルガバナンス・コード」の基本的事項に対応する企業を経済産業大臣が認定するものです。
当社は、DXを中期経営計画の基本戦略「商品・サービス」「販売・チャネル」「お客さま対応プロセス」のベースと位置づけ、「CSV×DX」「ヒト×デジタルによる事業変革」「DXインフラの整備」をDX戦略の柱とし、社会課題の解決およびお客さま体験価値の向上に努めていきます。

ピースビルディングボンド（平和構築債）への投資によるSDGsへの貢献

当社は、MS&ADグループが掲げる「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」との経営理念に基づき、2016年度から継続的にESG投資(※)を行っております。2022年度には、7月に独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行するピースビルディングボンド（平和構築債）への投資を行いました。これは国連の定義する17の持続可能な開発目標（SDGs）のうち、目標16（平和と公正をすべての人に）への貢献を目的としたものであります。
2022年度はその他にも、日本政策投資銀行が発行するサステナビリティボンドへの投資、MS&ADグループ傘下の3社との共同によるインパクト投資等も含め、社会課題をテーマとした資産への投資を実行しました。今後も財務の健全性と運用力の強化を図りながら、ESG投資を積極的に推進していきます。
※ ESG投資とは、環境(E)・社会課題(S)への取組みやガバナンス(G)などの非財務情報を含めて投資対象を評価・選別する投資手法です。

「健康経営優良法人2023（ホワイト500）」に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する「健康経営(※)優良法人2023（大規模法人部門）」（ホワイト500）に2018年度から6年連続で認定されました。本制度は、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として、社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的とし、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。
当社は、三井住友海上あいおい生命「健康経営宣言」に基づき、職場環境整備やメンタルヘルス対策等を含む5つの「重点取組」や各職場の課支社・グループ長を衛生推進者とする「推進体制」を明確にし、「社員一人ひとりの心身の健康づくり」に取り組んでいます。今後も、健康経営を強力に推進して「持続的な成長と企業価値の向上」を目指すとともに、持続可能な社会の発展に貢献していきます。
※「健康経営」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

地方公共団体等と連携した取組み

当社は「お客さまの笑顔で長生きを応援し、すこやかな未来を支える健康長寿サポーター」の実現に向け、サステナビリティ取組を大きな柱と位置づけ、地域の課題解決を目指した取組みを地方公共団体等と連携して進めております。2022年8月には神奈川県と「がん対策の推進に関する包括協定」を締結し、当社社員および代理店が「神奈川県がん対策推進員」として、①がんに関する正しい知識の普及啓発　②がん検診の受診勧奨　③治療と仕事の両立推進に関する啓発活動を地域企業や住民に対して実施するなど、県と一体となった取組みを進めております。その他の地域でも同様の取組みが進展しており、今後も地域企業の課題解決に貢献していきます。